

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.2
平成29年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

大阪維新の会 大阪府議会議員 **池下 卓** の府政報告

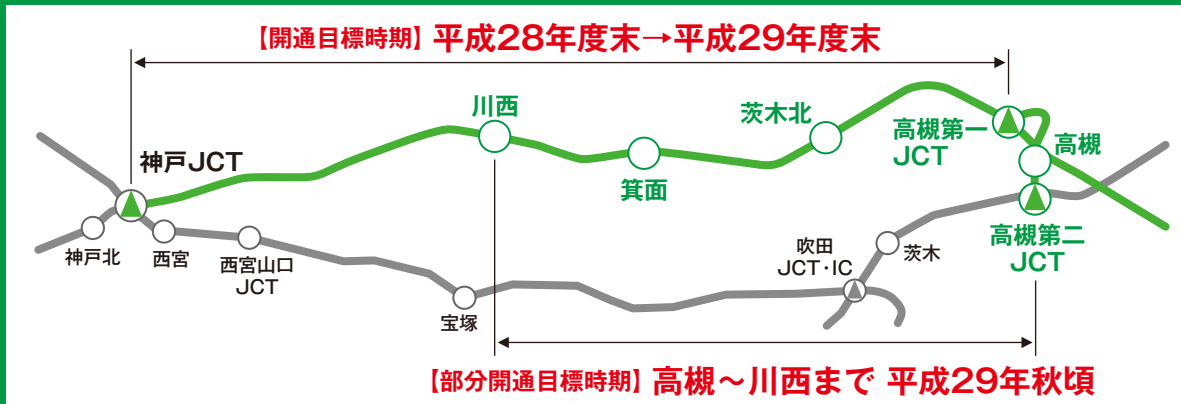


新名神 高槻JCT/IC (ジャンクション) (インターチェンジ) 供用スタートへ!

高槻市民念願である高速道路のJCT(ジャンクション)/IC(インターチェンジ)が**今秋ようやく供用開始**となり、一部区間が開通する。高槻～川西間は平成29年秋頃、川西～神戸間は平成30年3月末ごろを予定している。

この高槻JCT/ICは高槻市の成合地域から新名神高速はもちろんのこと、名神高速にも乗り入れが可能となり交通利便性が飛躍的に向上することになる。一方、JCT/ICの開通に伴い懸念される市内の交通渋滞について、**池下はこれまで大阪府議会にて渋滞をなくすためアクセス道路の整備に力をいれてきた。**

本年5月には成合～梶原地区への府道「高槻東道路」が開通。また、成合～八丁畷地域の府道「伏見柳谷高槻線」も拡幅工事が着々と進んでいる。今後も府道十三高槻線の早期開通や周辺地域の利便性向上のために活動を進めていく。



老朽化した高槻警察署の移転建て替えを要望する

高槻市民、島本町民の安全安心を守る大阪府警高槻警察署。その歴史は古く明治11年に茨木警察署高槻交番として発足、昭和23年には旧警察法の施行により高槻市警察署として新発足するも同29年の警察法の改正により高槻市警察署を廃止し、大阪府警高槻警察署となる。

このような歴史的背景がある中、土地は高槻市所有、建物は大阪府という状況の中で移転建て替えは進んでこなかった。

現在の高槻署は敷地面積も狭く、駐車場待ちの車が国道まで並ぶ、高齢者や障がい者のためのバリアフリーがない、さらに署員の勤務する執務スペースも狭いという悪条件である。池下はこれまで大阪府議会で建て替えについて要望してきた。大阪府と高槻市のパイプ役として今後も粘り強い活動を進めていく。



松井知事へ夏の政策提言を実施

今夏、大阪維新の会府議会議員団は「世界で勝ち抜く大阪の成長戦略」をテーマに松井一郎大阪府知事へ政策提言を行った。池下は今年度、府議会議員団の中で政策立案を担当する政務調査副会長を務めており、提言作成に力をいれてきた。

最重点項目として2025年大阪万博招致やIR誘致、そして大阪都構想や広域行政の一元化といった副首都・大阪にふさわしい大都市制度の確立へ積極的な取組みを行うよう求めた。さらに将来世代への投資として私立高校無償化の拡充や子どもの貧困対策とともに、きめ細かい府民福祉の充実を進めるよう提言をしている。

池下は高槻、島本の地域で多発している「特殊詐欺」(還付金詐欺など)対策や災害対策のための分譲マンションの耐震化の推進、郷土愛を育む教育の推進、活力と賑わいのある街づくりの推進などを提案し、地元のみならず大阪全体の成長に向け力を尽くしている。



大阪府議会議員
池下 卓
公式LINE@ページはじめました♪

1975年生まれ、高槻市在住。
専門学校講師、税理士事務所を
経て、税理士資格取得。
大阪府府議会議員2期目。
都市住宅常任委員会、政務調査
役員などを歴任。



池下卓大阪府議会議員事務所
〒569-0077
大阪府高槻市野見町3-3興喜第二ビル3F
☎ 072-670-0410
✉ info@iketaku.jp



いけたくチャンネル | 検索

「政治をもっと面白く、わかりやすく」をモットーに情報発信中!

大阪維新の会 大阪府議会議員団

大阪の未来と成長を見すえ

大阪都構想と大阪万博

大阪都構想の新制度案の議論が始まる!

法定協が初会合、会長に今井 豊議員 (6月27日)



大阪府と大阪市を統合して特別区に再編する大阪都構想の新たな制度案をつくる「法定協議会」の初会合が、6月27日に開かれました。
 この日の法定協では会長の選出と協議会の運営について協議され、会長には、維新の今井豊大阪府議が選出されました。協議会の運営については、松井知事と吉村市長が、「都構想の素案を示した上で、具体的な議論を進めるべき」と提案しました。これに対し自民は、「まず前回の都構想の問題点を議論するべきだ」として反対しましたが、維新と公明の賛成多数で、3ヵ月以内をメドに、大阪市を4区か6区に再編する案を示し、議論することに決定しました。
 なお、今回の法定協では、並行して、市を残して区の権限を強化する総合区制度についても議論されることになっています。

想定されるスケジュール

2017年 6月	協議開始 ・特別区設置の日 ・特別区の名称及び区域 ・特別区と府の事務分担事項 (総合区についても議論できる)
2018年 春頃?	総合区の最終案を作成
2018年 夏頃?	都構想の特別区案(協定書)を作成
2018年 秋	特別区の住民投票

住民投票、2018年秋実施を目指して

法定協は、政令市を特別区に分割する手続きを定めた大都市地域特別区設置法に基づき設置されるもので、知事、市長、府市両議会の議員計20人で構成し、特別区設置の日や区の名称・区域、区議会の議員数、区と府の事務分担や税源配分などについて、総務大臣の意見も踏まえて「協定書」を作成します。この協定書を大阪市民による住民投票にかけて特別区移行の賛否を問うこととなりますが、府と市は来年秋の投票実施を目指しています。

2025 大阪万博 世界を舞台にオールジャパンで誘致活動が本格化

BIE総会で初のプレゼンテーション

松井知事・神原会長 (6月14日)

2025年の国際博覧会(万博)の大阪誘致に向け、松井一郎大阪府知事と誘致委員会の神原定征会長(経団連会長)が、パリで開かれた博覧会国際事務局(BIE)総会で初のプレゼンテーションを行い、大阪万博の魅力をアピールしました。

誘致に立候補しているのは、大阪(日本)を含む4都市(4か国)で、開催地の決定は、2018年11月のBIE総会で加盟国(約170か国)の投票で決まります。



誘致委員会のアンバサダーに ダウントウンさんが就任!

世界の人々を笑顔にさせるデザイン



大阪万博
実現へ

誘致活動の
ロゴマークが決まる!

大阪・関西の魅力をアピール プレゼンテーション

松井一郎知事

「大阪・関西は、革新的なアイデアを提案する進取の気性、次の時代を見通すクールなマインドに支えられ発展してきた」など、大阪・関西のポテンシャルなどについて説明するとともに、「内外に向けた至便な交通インフラ、世界トップクラスの治安、おもてなしの心をもって、世界の皆様をお迎えいたします」とBIE加盟国に対し熱く訴えました。

神原定征会長

「現在、日本では、“Society5.0”という超スマート社会を目指す国家プロジェクトに官民共同で取り組んでいる。我々が目指す未来社会は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)が達成された社会。SDGs達成のフロントランナーとなり、大阪・関西の万博で未来社会を世界の皆様と共有したい」と、万博のコンセプトなどを説明しました。

松井知事の
プレゼンテーション

2025大阪万博の開催計画

テーマ	いのち輝く 未来社会のデザイン
会場	大阪湾の人工島「夢洲」
期間	2025年 5月3日～11月3日
来場見込	2800万～3000万人
経済波及効果	約1兆9000億円



夢洲 (大阪市港湾局提供)